

第31回 道南摂食嚥下研究会

道南摂食嚥下研究会代表
長谷川千恵子

道南の医療、介護、福祉に携わる皆様

寒さ厳しき折、皆様いかがお過ごしでしょうか。誤嚥性肺炎、市中肺炎とも一年で一番多い季節ですね。今回の研修会は「全介助の生活」を送る方に対する摂食嚥下アプローチです。在宅、施設、病院でもほぼ全介助で生活している方がおられます。多くの場合、活動だけでなく、コミュニケーションについても課題があります。ご本人にとって最適なケアを提供することはなかなか難しいと感じいらっしゃるのではないかでしょうか。是非一緒に学び、経験を分かち合う機会にしましょう。

日 時：令和8年3月11日（水）19時00分～
(18時30分 開場)

場 所：市立函館病院 2階 講堂

テーマ：「全介助の方に対する口腔嚥下アプローチ」
—今さら聞けない認知症、障がい者への
対応・考え方について—

講 師：近藤 英司 先生

（独立行政法人 国立病院機構 函館医療センター

医学博士・日本口腔外科学会専門医・指導医）

【対象者】 摂食嚥下障害患者さんに関わる医療・福祉従事者

【参加費】 無 料 【定員】 100名（お申し込み順）

【申込】 氏名、職種、所属を明記しメールで下記アドレスへお申し込み下さい

jgibg18034@yahoo.co.jp

事務局担当：介護老人保健施設 ジョイウェルス桔梗

寺田 昌弘

問合せ先：0138-46-8881

締め切り 3月 6日（金）

